



復刊第147号
題字 吉岡 弥生

巻頭言

副会長 野澤 良美

若葉の緑が先行し、低気温続きの毎日でしたが夏に向かい6月の気象が気にかかります。

会員の諸先生方におかれましては日々ご多忙のなかお健やかにお過ごしのことと存じます。つい先頃、平穏な願いをこめて新年を迎えたような気がいたしておりますのに、早いもので間もなく一年の半ばを迎えようとしております。

日本女医学会におきましては3月20日―23日、ニュージブラント・オーランド市において国際女医学会西太平洋地域会議が「家族の健康と福祉」のテーマのもとに開催され、日本から五十二名の先生方が出席されました。国際女医学会副会長の橋本葉子先生は立派に議長をつとめられ、無事会議を終了することができました。引き続き5月25、26日には九州福岡にて第41回日本女医学会定時総会を盛

大に開催することができました。前福岡市女性助役として活躍された加藤益子先生、ならびに現日本女医学会福岡支部長水田祥代先生の指揮のもと支部の先生方のご協力によりいたれりつくせりの細かいお心づかいの数々に胸の熱くなる思いでございました。

評議員会、公開シンポジウム「未来をひらく女医の役割―高齢社会にむかって―」、定時総会、記念講演、懇親会と限られた時間内で実に円滑に運営され、皆様方のご協力のたまものと深く感謝申し上げます（精細なご報告は別に予定していることと存じますので、ごく簡単に申しあげたいと存じます）。

公開シンポジウムでは司会の稗田慶子先生をはじめ現在第一線で活躍中の五名のシンポジストの方々の熱気溢れるお話を伺うことができま

した。中でもただお一人男性の先生（福大医学部朝長正道教授）が指名され少々顔を赤らめてのご発言になごやかな雰囲気を感じられました。

記念講演「小児外科―最近の進歩」と題しての水田祥代先生（九大医学部小児外科学講座教授）の限られた時間内でのスライド百枚にも及ぶお話は、そのご研鑽、ご努力のたまものであり一朝一夕には成立するものではなく一つ一つの積み重ねによる実力とまた地域の皆様からの深い信頼の上に成り立つものと心より感激いたしました。

定時総会では出席会員の先生方のご協力もあり議事も円滑に進行いたしました。最後に緊急動議が出され（保健所長は医師の資格がなくともよい）という行政の意見に対し、日本女医学会としても重要な問題であるので自治省地方分権促進委員会に対し要望書を提出することになりました。

懇親会には二百人余の多数のご出席があり、また副知事、市長、医師会長、九大・福大医学部長をはじめ多数のご来賓のご臨席を賜わり、にぎにぎしくつい時間の経過も気付かないほどでございました。アトラクシヨンの趙国良氏の「胡弓と洋琴の夕べ」では、もの悲しい澄んだ美しい音色に心の洗われる気がいたしました。皆様方のアンコールにも気持ちよくお応えくださり日本の歌など楽しい夢のようなひとときを過ごすことができました。

もくじ

巻頭言	野澤 良美 (1)
第41回日本女医学会定時総会	佐藤千代子 (2)
会長あいさつ	
定時総会議事録	3
各賞と研究助成	
吉岡弥生賞を受賞して	澤口 彰子 (4)
地域功労賞を受賞して	永田 夏子 (4)
地域功労賞を受賞して	村松 みさ (5)
学術研究助成を授与されて	大草 知子 (5)
学術研究助成を授与されて	宮川 幸子 (6)
学術研究助成を授与されて	清水 幸子 (6)
学術研究助成を授与されて	船坂 陽子 (7)
学術研究助成を授与されて	川村 隆枝 (7)
定時総会報告	
第41回定時総会を終えて	加藤 竺子 (8)
第41回定時総会を開催して	水田 祥代 (8)
公開シンポジウムを開催して	稗田 慶子 (9)
懇親会を終えて	梅根真知子 (9)
Aコース・ハウステンボスの旅	井上 柳子 (9)
Bコース・有田焼物の里めぐり	小野 順子 (10)
〈国際女医学会西太平洋地域会議〉	
国際女医学会西太平洋地域会議に参加して	橋本 葉子 (11)
国際女医学会西太平洋地域会議に参加して	平敷 淳子 (11)
ワイトモ・ロトルア一日観光	三橋 麗子 (12)
グレート・バリア・リーフとミルフォードサウンドの旅	井上 柳子 (12)
小児病院を見学して	齊藤 文子 (13)
*	
みどり愛育園落成式に招かれて	白浜 光子 (14)
神奈川支部だより	森田 和子 (14)
評議員会議事録	14
理事会議事録	15
会員動静	16
編集後記	16

医学の世界、芸術の世界におきましても同様に一つ一つの小さな積み重ねの努力によりやがて大きな成果が得られるという事を強く感じました。ふと国民的作家吉川英治の事を思い出しました。氏は小学校のみ卒業でしたがその勉強法の一つは国民百科大辞典を全巻くり返し、くり返し読み続けるという方法だったといえます。また「自分以外は皆師であ

第41回日本女医学会定時総会

会長あいさつ

会長 佐藤千代子

古くから国際大都市として栄えました福岡、そして今や未来都市の活力に満ち満ちております。この福岡におきまして、第41回日本女医学会定時総会を開催する運びとなりました。心からうれしく存じております次第でございます。

水田支部長先生、福岡市前助役でいらつしやいました加藤三子先生をはじめといたしまして、いろいろな分野でご活躍の会員の皆様の素晴らしいセンスとご熱意を結集していただき、新しい視点に立ってプログラムを設定していただきました。そのご努力に対しまして、厚くお礼申し上げます。

「自分と関係する人の全部はどんなタイプであれ老若を問わず師であり、先生であるとしたのです。この謙虚さがあの文学を生み出す大きな底力だったという事ができるのです。思いあがりの人間の多い世の中、自分をみつめ直す機会を少しでもつくりたいものと深く心より感じました。「安楽死」の問題もニュースをにぎわしております。医師とし

上げる次第でございます。

日本女医学会の昨年度の活動につきまして、会誌にそのつど、報告させていただきますが、特に平成7年5月にオランダのハーグにおきまして、第23回国際女医学会が開催されました。この会議におきまして、橋本常任理事が国際副会長に選出されまして、平成8年3月20日からニュージーランドのオークランド市で開かれた西太平洋地域会議において議長を務められました。この会議のテーマは「家族の健康と幸福」ということでございましたが、日本

て一人の人間として謙虚な心で日々を過ごしたいものです。

最後に6月30日(日)日本女医学会、日本女医学会愛知県支部主催の公開シンポジウムが、「あいち女性総合センター」にて開催されました。テーマ「生命——しなやかに生きる——」佐藤千代子会長もシンポジストとして講演なさいますので、ぜひ多数のご参加をお待ち申し上げます。

女医学会員からも十題に及ぶ演題が提出されまして、その内容は大変格調高いものでございました。

後ほど事業部よりご報告申し上げますことですが、昨年度には日本女医学会といたしまして、ワークショップ、公開講演会、講演研修会、ミニシンポジウムなど、いろいろの会を持ちました。その中で特に私の印象に残りましたのは、ご講演の「医療の中の法と倫理」と題しての唄名譽教授のお話でございました。そのお話は東海大学における安楽死事件の判決を踏まえて、法的解釈についての説明をいただきました。それは私どもの医療の観念と法的解釈との格差のあることを認識いたしました。非常に有意義なお話だったと思っております。このことを4月29日、大阪において開かれました、大阪の十支部連絡会でお話し申し上げましたところ、今後そのような特別なご講演がありましたら節には、ぜひテー

プに取って支部の方へも回していただきたいというご要望がございましたので、そういうことも今後実施したいと、理事会で検討する予定にいたしました。また、昨年6月には、1月17日に起きた阪神大震災で大被害を受けた兵庫支部へ、全国の会員の皆様からお寄せいただきました義援金を持参させていただきました。壊滅的な打撃を受けられた会員の皆様の中には、それぞれ病院、診療所を再建され、診療も開始されていらつしやる会員の方もありまして、大変うれしく存じました。しかし、診療所、病院の再建には多額の費用がかかり、まだまだ苦難の道は続きますことにて、私どもの微力を申しわけなく思いつつも、ぜひできることがあれば応援してまいりたいという気持ちで、ご健闘をお祈りして帰った次第でございますが、兵庫支部の先生方の「日本女医学会の皆様のご支援を胸に、これから頑張ります」という明るいお顔に接しまして、安堵いたしました次第でございます。

平成7年5月に埼玉県大宮市で総会を開催させていただき、非常に楽しい交流の場を設営していただきました。この総会におきまして、会費の改定をご承認いただき、併せて納入方法についての変更もご承認いただきましたが、これがやはり徹底を欠いたかと思っております。銀行振込に限ると思いになられた方も

多く、納入状況がはかばかしくなく、私も一時大変心配をいたしました。郵便振替でも、現金での納入でも結構ですと、再度ご連絡申し上げました結果、徐々に納入が進みまして、大変安堵いたしました次第でございます。

会員の高齢化も進み、値上げと相まって会員の減少をひたすら心配する日が続いておりましたが、3月末には予算額に近くなり、愁眉を閉いたわけてございます。皆様からの会費は、女医学会に対する連帯に基づき、さらなる期待感の表れと心に受けとめ、十分な配慮をもって運営に当たってまいりたいと思っております。常々事業の拡大と経費節約というはざまであるいろいろな悩みも多々存じてございすけれども、女医学会の充実・発展を第一義に考えて、慎重に運営いたしてまいりたいと思っております。

現在、執行部といたしましては、会員の増強を最大目標といたしまして、いろいろな方策を検討いたしておりますが、折々には女医学会の存在すらご存じない女性医師の多さに、PR不足も反省いたしている次第でございます。

本日、すばらしいシンポジウムを開催していただきました。そこには未加入の会員の方々、そしてまた医学生の方々も多く参加していらつしやると承りました。本日、女医学会とこの方々にご認識していただいたと思っておりますが、積極的にいろいろな機

定時総会 議事録

日時…平成8年5月25日(出)

場所…シーホークホテル&リゾート (福岡市中央区地行浜2-2-13)

午後1時10分開会

司会 石原 幸子

社員法人日本女医学会総会開催に際し

出席数 一五三名

記名委任数 六三六名

白紙委任数 四三〇名

以上のとおり日本女医学会定款第27条の定足数に達し、総会が成立する旨の報告あり開会を宣す。

会長挨拶 佐藤千代子

物故者への黙禱 藤岡 邦子

平成7年度物故会員に黙禱

(報告)

1、会務および事業報告 久田タカ

配布済みの資料にもつき報告

3、平成7年度特別会計報告

吉岡弥生賞基金会計 川田喜代子

国際女医学会記念事業基金会計 年金会計

ルーペンタン会計

て終了したいとの報告があり、承認される。

4、ナショナルコーディネーター報告 平敷 淳子

議長団選出 齊藤歌子、諸井ミサヲ、関根み代 (議長団、議長団席に着席)

議事録署名人選出 大橋鎮子、渡辺政子

(議事)

第1号議案 (1)平成7年度一般会計収支計算書 栗原 久子

配布済みの資料にもつき報告

(2)剰余金処分案 栗原 久子

次期会計へ繰り越すことを原案どおり可決

会計監査報告 藤岡 邦子

監査の結果適法かつ正確であることを認める旨の報告あり。

第2号議案 平成8年度事業計画案 庶務部 白浜 光子

会員増加推進 吉岡弥生賞 白浜 光子

事業部 公衆衛生生活 白浜 光子

支部助成 荻野吟子賞 年金 社会保険新報社への原稿協力

について 月刊「いきいき」

渉外部 白浜 光子

国内および国際交流 白浜 光子

広報部 白浜 光子

機関紙の発行 橋本 葉子

学術部 橋本 葉子

研究助成 橋本 葉子

学術研修会 橋本 葉子

以上原案どおり可決

第3号議案 2004年国際女医学会議立候補の件 佐藤千代子

原案どおり可決

第4号議案 次期および次々期総会開催地 佐藤千代子

次々期開催地 東京

次々期開催地 栃木県(予定) 原案どおり可決

緊急動議 神田慶子会員より日本女医学会から「保健所長資格の見直し」に関して自治省へ要望書提出の要請の動議が出され、伊藤二葉会員が賛成し採択。要望書提出を決議。

(表彰)

(1)吉岡弥生賞受賞者 澤口彰子

(2)地域功労賞 永田夏子、村松みき

(4)学術研究助成金授与者 大草知子、宮川幸子、清水幸子、船坂陽子、川村隆枝

閉会の辞 中濱 昌子

午後3時05分開会

会を設営していただき加入をお勧めいただきました福岡支部の担当の先生方に大変感謝いたしている次第でございます。会員の皆様方におかれましても、周囲の方々にぜひ加入をお誘いくださいますようお願い申し上げます。

平成7年11月には、東京都支部連合会の皆様、7月にオープンしました東京女性情報センター「ウイメンズプラザ」の開館に際して、「電話による女性の体の健康相談」を開始されました。相談件数も結構多いと承っておりますが、またいつかの機会に、その内容あるいはその集計などについてお話を承る機会もあらうかと楽しみにしております。

愛知県支部におきましても、この5月30日にオープンいたします愛知女性総合センター「ウイイル愛知」におきまして、面接による健康相談を担当することになりました。

もちろん福岡では、福岡市健康づくり財団「あいえふ」の理事長、専務理事とともに福岡支部会員でいらつしやいまして、その「あいえふ」も昨年一度見学をさせていただきました。視点からの健康づくりの総合施設が立派な建物にふさわしい運営がなされております。また、福岡支部では、そのほか公的な立場でいろいろ社会との関連の中で活躍の方々もたくさんいらつしやいます。こういった健康のための活動というのは、恐らく

今後各地に広がって、また活動していただける支部も多くなつていかうかと楽しみにしております。先ほどの調査で二十九歳以下では総数の24・6%であり、今後増加の傾向は確実に増加しております。特に今回のシンポジウムで男性の先生がおっしゃいました「30%に到達する」のはもうすぐでございます。恐らく今後50%に近づくことも確実ではないかと思っております。

女性医師の増加、そしてまた、これは医師過剰の問題とも関連いたしますが、昨今、女性医師に対する期待というの一面大きく取り上げられております。私どもはこの期待に沿うべく、会員個々の活躍もございしますが、女医会としてもこれを契機に新しい構築、女医会としての構想をたてていかなければならないのではないかと考えております。これにいろいろなお提言、ご指摘をいただきますようにお待ち申し上げております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

各賞と研究助成

吉岡弥生賞を受賞して



東女医学内支部 澤口 彰子

このたびは、二十六年前に龍智恵子先生及び荒川あや先生のご尽力によって設定された「吉岡弥生賞」受賞の榮譽に恵まれ感謝しております。ご推挙及びご審査を賜りました諸先生方にお礼を申し上げます。佐藤千代子会長が朗々とお読みになる授賞理由を拝聴しながら、このような機会に恵まれたことに感謝し、緊張に包まれました。

私は東京女子医科大学を卒業後、直ちに大学院で法医学を専攻し、その後、北里大学医学部法医学教室で法医学の骨子となる法医解剖の研鑽を積みました。現在は、母校の法医学講座を担当しています。

医学は時代の趨勢と共に進歩、発展しますが、法医学においてもこの傾向が強くみられます。最近、医事紛争や安楽死などの鑑定、社会を揺るがすような犯罪及び増加している銃器による犯罪などの鑑定、遺産問題が絡む親子鑑別など多彩です。ここ数年、法医鑑定ではゲノム探索による遺伝子解析が破竹の勢いで

その遺伝子のどこに変化があるか、老化や分化の過程でどの遺伝子が発現したり抑制されたりするかが研究されています。その方法として、特定の塩基配列を認識して、その部位を切断する制限酵素が広く使われています。

最近、私たちの教室ではその認識配列をランドマークとして、DNAの数千点もの座位を検出できるRLGS法という新技術を取入れ、その法医学的な応用に精力を注いでいます。

古今東西、法医学を志す若手女性医師はまれですが、今回の授賞によって、応用医学であり、社会医学である法医学を少しでも認識していただき、一人でも多くの先生方が法医学の扉をノックされることを強く望んでいます。

地域功労賞を受賞して



神奈川支部 永田 夏子

このたびは思いもよらぬ立派な賞を頂いて身に余る光栄と存じます。省みすれば八十年余の生を受け医者としての務めを真面目につとめたいというだけで本当にお恥ずかしい限りですにもかかわらず、この賞にご推挙下さいました女医学会の先生方に厚くお礼を申し上げます。

校医の仕事と診療に湘南という恵まれた土地で五十年近く過ごして参

りました。温暖な気候と新鮮なおいしいお魚に恵まれ、また診療スタッフの何十年にわたる変ることのない献身に支えられて本当に幸せな人生でした。

今後なお健康に留意して続けられる限り診療にはげみ、生涯現役を貫きたいと存じます。現在は好奇心のままに英会話、古典研究会(源氏物語)、書道、水泳と欲ばって首をつ

吉岡弥生賞推せんについて
平成八年吉岡弥生賞授賞の適格者を、本会理事または支部長宛にご推せんくださるようお願いいたします。締め切り期日は、本年十二月二十五日までに願います。なお次の書類を添えて、ご推せんをお願いいたします。

- 一、自筆履歴書
二、業績
イ、医学に貢献した現会員。
ロ、社会に貢献した現会員。
三、推せん理由

お詫び

総会資料(第41回定時総会)平成7年度会務報告の20ページに左記の誤りがありました。お手数をおかけ致しますが、ご訂正いただきたくお願い致します。たいへん申し訳ございませんが、ここにお詫び申し上げます。

訂正箇所 20ページ

- (正) 収支予算書
(誤) 収支計算書

つこんでおります。末筆ながら日本女医学会のますますの発展をお祈りし改めてお礼を申し上げます。

地域功労賞を受賞して



静岡支部 村松 みさこ

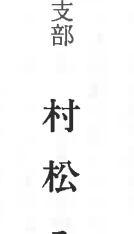
第41回総会の折に地域功労賞をいただきまして身に余る光栄に浴しました。ありがとうございます。

昭和20年6月静岡市も大空襲に遭いまして、当時静岡日赤病院に勤務したばかりの私はその当日宿直の番でした。あのきれいな焼夷弾に接しましたが、入院患者(軍人)を護ることで必死でした。その後発足したばかりの保健所へ招かれまして、爾来三十六余年公衆衛生の道を歩いてまいりました。

結核は大正時代が最も多かったとのことですが、終戦後もなかなか昭和25年法律改正され、また33年に患者登録とその管理という制度に至りまして、国、県、市町村と一途に専念することになりましたし、一方健診などの促進方を横から支えてくれるようにと婦人団体の協力方とそ

の発展をお祈りし改めてお礼を申し上げます。

地域功労賞を受賞して



山口支部 大草 知子

このたび、日本女医学会学術助成金を賜わり、誠にありがとうございます。

学術研究助成を授与されて

私は、昭和58年に島根医科大学を卒業し、京都大学第三内科にて卒後研修後、大学院を修了し平成3年より山口大学にまいりました。卒業以後、循環器学を志し、心筋の収縮、弛緩に関するメカニズム、特に細胞内Ca²⁺動員機構の研究を進めております。

従来より、循環器分野の研究は血行動態力学を中心とするものが主体でありましたが、近年、分子生物学のめざましい発展とともに、循環器分野におけるその研究内容も例外で

第17回学術研究助成のご案内

会員の学術研究に対し、助成事業を行っております。希望者がありましたら応募要項にしたがって、事務局あて申請くださるようお願いいたします。

一、助成の趣旨

医学分野の発展向上を図り、後進の研究助成を目的とする。

二、助成金額

一件 三十五万円(五件)

三、申込手続

(1) 応募資格

入会継続三年以上経過した日本女医学会会員で個人、またはグループ(ただし、グループ研究においては会員が研究推進の中心的役割をになうものであること)

(2) 助成期間

一年を原則とする。同一人が重ねて申請する場合は、三年以上の間隔を置く。

(3) 応募方法

本会所定の用紙に、黒インキまたはワープロで記入。一通を提出(用紙は事務局へ請求のこと)

(4) 申込期間

平成八年十二月二十五日(必着)

(5) 選考および発表方法

選考委員会において選考の上、平成九年三月開催の日本女医学会理事會において決定し、申請者あて通知する。

(6) 助成金の贈呈

平成九年五月開催の日本女医学会総会の席上。

(7) 受賞者の本会に対する義務

平成十年三月末日までに研究経過報告(B5原稿用紙三枚)と助成金使途についての簡単な収支報告を提出すること。

(8) 送付先

日本女医学会本部 千150 東京都渋谷区渋谷二一八一七 電話 〇三三四九八一〇五七一

定が可能になればと願っています。最後に、あらためて研究助成金の授与に心から感謝いたしますとともに、今後の諸先生がたのご指導、ご鞭撻をたまわりますようお願い申し上げます。

▼学術研究助成を授与されて



奈良支部 宮川 幸子

今年のはじめて女医会総会に出席させていただきました。先輩後輩皆様の若々しく(見える)活躍の様子を拝見して、私もあと二十〜三十年は働けるのではないかと希望がわいてきました。

研究助成の対象となりましたのは、「新生児エリテマトーデス(NLE)の発症要因に関する研究」です。NLEは、抗SSA/SSB抗体陽性の母親から生まれた新生児に、皮膚の環状紅斑、血球減少、肝障害、先天性心ブロック、先天性心奇形、脳水腫などを伴う疾患です。母親は必ずしも典型的なSLEの症状を示さず、むしろシェーグレン症候群、あるいは一見正常な母親が患児を出産する頻度が高いことが判明しています。新生児の諸症状、ことに心ブロック、心奇形あるいは脳水腫などの重症な臓器障害は生命の危険があり、早急な対応が必要ですが、これらを知り得る確実なマーカーは現在なおあきらかではありません。母親血

荻野吟子賞推せんについて

平成八年 荻野吟子賞 授賞の適格者を、本会理事または支部長宛にご推せんくださるようお願いいたします。締め切り期日は、本年十二月二十五日、候補者の経歴、業績と推せん理由を記載し、推せん者の氏名、捺印をもつて提出してください。

▼学術研究助成を授与されて



大田支部 清水 幸子

このたびは、第41回日本女医会総会におきまして学術研究助成を頂き、誠にありがとうございます。今回応募させていただきました研究課題は「唾液中ステロイド測定による新生児ストレスの評価」です。私の所属いたします昭和大学産科婦人科学教室では、中山徹也前教授・矢内原巧教授のご指導のもと、長年胎児胎

清中の抗SSA/SSB抗体の認識するエピトープ、母と児のNLAの相関、および新生児の臓器症状の関連性をあきらかにすることに、NLEの臓器障害の予知と対策を講じることができると考えます。NLEをモデルにして、SLEを盤母体系の内分泌、特にステロイドホルモンの産生・動態を大きなテーマとして研究が続けられてきております。私自身も胎盤や胎児副腎のステロイド代謝の研究を行ってまいりましたが、胎児・新生児の副腎機能は未だ不明な点も多く興味深い分野と考えております。新生児に母体心音を聞かせることにより、鎮静効果があることは経験的に知られており、児童心理学分野では新生児の表情分析や脳波などを用いての評価が試みられておりますが、新生児のストレスに対する副腎機能の反応性やそれに及ぼす母体心音の影響については内分泌学的評価を行った報告はありません。われわれはこれまで数名の心理学者を共同研究者とし、新生児期の外来ストレスに対する反応性の評価として、表情分析と同時に非侵襲的に採取可能な唾液中Cortisol測定がその指標化の上で有効であること、さらにストレスに対する母体心音を含む各種の音の影響を検討し、心音の鎮静効果を初めて内分泌学的に指標化し報告してまいりました。今後さらに唾液中DHEA、DHA-S、ACTHなどの測定を進め、新生児副腎機能のメカニズムやストレスへの反応性を内分泌学的視点から解明していきたいと考えて

ております。また、早産児の副腎皮質機能は未熟で副腎胎児層の退縮が遅延することから、血中DHEA-S値は正期産児の三倍高値を示す教室の成績に基づき、早産児のデータも集積し、ストレスに対する反応性の獲得の時期などについても検討したいと考えております。近年、新生児医療の進歩は著しく、早産児の救命率も上昇の一途をたどっておりますが、一方、児は採血や種々の検査及び各種医療機械音のストレスにさらされているとも言えます。成人におけるストレス

▼学術研究助成を授与されて



兵庫支部 船坂 陽子

このたびは、女医会における学術研究助成を賜りました。まことにありがとうございます。このたびの研究課題「紫外線による色素細胞活性化因子の同定とそのシグナル伝達の解析」について少し述べさせていただきます。

近年、オゾン層の破壊に伴い、また日焼け指向励行の世論的風潮より、紫外線発癌は増加傾向にあります。ことに、紫外線暴露後、表皮メラノサイトにおきましてその分化形質でメラニン生成、および周辺ケラチノサイトへの分泌が十分に

行われないスキントイプは、高皮膚発癌群であることが証明されてきております。この分子生物学的な機序につきましては、1982年に表皮メラノサイトの単独培養が可能となつて以来、ようやく表皮メラノサイトの増殖および分化の制御機構の一部があきらかになりつつあるというのが現状です。私は、1984年に神戸大学医学部卒業後皮膚科学教室に入局し、1990年に米国Yale大学での約一年間の研究留学を含め、色素細胞の増殖・機能制御に関する臨床研究、基

礎研究に従事してきました。私もメラノサイトの増殖因子として、線維芽細胞増殖因子ファミリーのbFGF、bFGF、FGF-4/K-FGF/Int-1)、FGF-5、FGF-6、また幹細胞増殖因子(SCF/SIF/MGF/KL)、肝細胞増殖因子(HGF/SF)の表皮メラノサイトへの増殖刺激におけるシグナル伝達機構につき解析し、上述の増殖因子の受容体はいずれもチロシンキナーゼ活性を有するが、細胞内のサイクリックAMP(cAMP)濃度を上昇させた条件下にて相乗的に増殖刺激効果を示すことを報告してまいりました。プロオピオメラノコルチン(proopiomelanocortin, POMC)遺伝子産物が、特異酵素によりプロセッシングを受けた結果産生されるα-メラノサイト刺激ホルモン(α-MSH)や副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)は、メラノサイト上のメラノコルチンレセプター(MC-1R)に結合して、細胞内のcAMP濃度を上昇させることが知られております。私共はα-MSH、ACTHが脳下垂体のみならず、紫外線照射を受けた正常ヒトケラチノサイトにおいて産生・分泌共に亢進することを示し、また紫外線照射ケラチノサイトから放出されるIL1、ADPそしてエンドセリンによりメラノコルチンレセプターの活性化が生じ、その結果メラノサイトがパラクリン機序で相乗的に活性化をうけることを明らかに致しました。紫外線により十分に色素沈着を誘導できない紫外線発癌危険群

▼学術研究助成を授与されて



岩手支部 川村 隆枝

このたびは、女医会における学術研究助成を頂き光栄に存じます。私の研究課題は「抗接着分子抗体の心筋虚血再灌流障害抑制効果について」ステロイド、ウリナスタチンとの比較」です。近年、免疫学の進歩により、心筋の虚血再灌流障害におけるサイトカインの関与が明らかとなつてまいりました。特にインターロイキン6、8は好中球や血管内皮細胞上の接着分子の発現を増加させ、組織障害の一因であることが報告されています。一方、開心術中の心筋虚血再灌流障害を少しでも少なくすることは、術後の心機能維持の面で重要な課題であります。抗接着分子抗体による、心筋障害軽減については報告されておりますが、その臨床応用は抗体投与による副作用や、高価な点等問題が多くあります。そこで従来使用されているステロイ

は、遺伝的にメラノコルチンレセプター制御機構が不全である可能性を含め、分子生物学的な検討によりメラノサイト活性化の機序をあきらかにすることで、予防的治療への応用につながることを期待いたしております。

まだまだ駆け出しの若輩ですが、本研究をライフワークとして、少しでも社会に還元できるよう努力していきたいと思っております。ご指導・ご鞭撻のほど、なにとぞよろしくお願い申し上げます。また、助成金を賜りましたこと、心から感謝いたします。今後とも諸先生方のご教示、ご鞭撻をお願い申し上げます。

※定時総会報告記※

第41回定時総会を終えて

福岡支部 加藤 竺子

山崎前会長から九州で一度総会を是非やって欲しいというお声を頂き、「やりましょう」とお返事はしたものの、形だけの支部として果たしてやれるのか、甚だ心もなない思いでした。あれから何年たったでしょう。女医学会の理事にご推薦頂いたのを契機に支部長を水田祥代先生にお願いし、坂本雅子先生に事務局をご担当頂き若返りをはかりました。若い会員を集めたいとワークシヨ



第41回定時総会会場

第41回定時総会を開催して

福岡支部 水田 祥代

福岡(博多)は人情に厚く、また海の幸、山の幸に恵まれ、いつお出

でなくても良いところ(博多弁ではヨカトコと言いますが)ですが、

アップ「女医の国際貢献そのII」を昨年開かせて頂き、会長をはじめ理事の先生方に福岡の下見もして頂きました。何しろみんな仕事をもち、忙しい先生ばかりなので、総会運営についても企画、その他を決めるのに集まって頂く日時の調整が大変でした。しかし本場に地元の若い先生方がとても頑張ってくれました。行政、大学、医師会、経済界と数多くの方々のご支援を頂きましたが、何と言ってもうれしかったのは男性ドクターから「頑張らなさい、二十一世紀は女医さんの時代ですよ」など、とエールを送って頂きました。

総会は全国から多数の先生方がご参加下さり、福岡を満喫して頂きました。私どもにとっても大変楽しい思い出となり、新しい企画のシンポジウムも若い女医さんたちに刺激となったようです。惜しむことは、土曜日の午前中なので大事な勤務医が参加できず残念でした。総会が終わり、さて、これからどうやって支部、本部会員を含め女医会のエンパワーメントができるのか?大きな荷物を背負った思いです。会長をはじめ、全国からご参加頂きました先生方に心からお礼申しあげます。

とくに初夏の博多の街は福岡県の県木である「くすの木」がいろいろな緑に変化し、白い花をつける季節で、堀口大学の「夕ぐれの時が良い時」という詩の世界そのものです。この緑の5月に第41回日本女医会定時総会及び学術会議を福岡市で開催させていただきますことは誠に光栄に存じます。お陰さまでたくさんの方々のご出席を賜りまして、無事に終ることができました。厚くお礼申しあげます。

ら自前の講演はどうか〜と心配でしたが、加藤先生にはげまされて、「小児外科―最近の進歩―」について、小児外科疾患の解説を交えながらさせていただきますました。講演後に佐藤千代子会長からきれいな花束をいただき、とても感激いたしました。懇親会にもたくさんの方々にお出でいただきました。アトラクションはアジアの支関である福岡市らしく趙国良さんの胡弓の演奏をお楽しみいただきました。あの広いモンゴルの草原を駆ける馬の姿が目にも浮かぶような演奏に一同酔いしました。本会の開催にあたりましては福岡県、福岡市、福岡県医師会、福岡市医師会および分科会、九州大学医学部、久留米大学医学部、福岡大学医学部、産業医科大学、財界等の多くの方々にご協力をいただきました。厚くお礼申しあげます。また、福岡県中の男性医師の方々にも暖かいエールをたくさん送っていただきました。とても嬉しく感激いたしました。最後になりましたが、多くのご指導を賜りました日本女医会佐藤千代子会長をはじめ、理事の先生方、会員の皆様、本部事務局の方々に厚くお礼申しあげます。心から感謝いたします。これを契機に私も福岡支部会員一同力を合せ、地域医療向上のために一層の努力をしてまいります。今後ともよろしくご指導賜りますようお願い申しあげます。

公開シンポジウムを開催して
「未来を開く女医の役割」

福岡支部 稗田 慶子

今回の第41回定時総会では公開シンポジウムを開催しようということになったが、さてテーマは?から始まった。このところHIV薬害問題や住専問題で逮捕された桃源社社長の佐々木氏も元医師であったというわけで、悪者は医師?が定着しつつある。加えて毎年のことではあるが医療費の高騰、病院倒産等暗い話題ばかりである。その数が殖えて勢いを増しつつある女医の力で何とかこの閉塞状態を打ち破って明るい未来を開くことができぬものか……。それで決まったテーマが「未来を開く女医の役割」であった。



公開シンポジウム会場

シンポジストは県内各地域から年齢、専門分野、所属分野ができるだけ片寄らないようにと考慮して選びお願いした。皆さん忙しいとか適任ではないからと言ってしり込みされたりが強い引をお願いした。どうなる事かと心配したが一度下打ち合せに集まったところ、どうしてどうしてなかなか活発な意見が飛び交い、心強い感触を得たのだ。当日は果たして参加者が集まるだろうかと心配したが用意した百六十席が満席となり、立見ならぬ立聴きも出る始末でフロアからも福岡大学脳神経外科の朝長教授や病院勤務の眼科医山菜先生のご意見も頂き、かなりの盛り上りを見せた。くわしい内容については別途報告するので省略させて頂く。私事になるが翌26、27の両日はハウステンボス一泊ツアーに福岡支部顧問の加藤先生と共に参加し、先輩の方々が大変楽しいひとときを過ごすことができたが、その素晴らしいパワーに圧倒されると同時に大変頼もしく思ったものである。続く28、29、30と東京出張で、30日夕方ようやく自宅のある久留米駅まで来てJRの列車から降りる寸前、両手に荷

物を持って昇降口の方へ歩いていたらそこ急な列車の振動で思わず転倒。荷物は飛び散りぶざまな格好でしりもち。とそこで素早く手をさし出して助けおこしてくれたのも、飛び散った荷物を拾ってくれたのも、す

懇親会を終えて

福岡支部 梅根 真知子

第41回定時総会にひきつづき行われた記念講演も盛会のうちに定刻に終了して、18時より懇親会を持ちました。華やかにお召しかえをなさった先生、久しぶりに会った同窓生どうしですでお話はずんずんいらっしやる先生方など百十三名をお迎えすることができました。福岡支部より四十二名が出席し、桑原福岡市長をはじめ医師会や大学関係より十一名の方々に来賓としてご出席いただきました。

胡弓に二十一絃の中国琴とピアノが加わった素晴らしい演奏が、水を打ったような会場を包みました。懇親会にあたっては、遠方からせっかく福岡においで下さった先生方に、海の幸豊かな福岡のおいしいものを

ハウステンボスの旅

千代田支部 井上 柳子

平成8年5月25日、第41回定時総会、学術会議が無事に終了、夜の懇親会での、幻想的な胡弓の音色が、まだ耳の奥に余韻を残しつつ、26日の朝9時、二十六名の一行は、バスで一路、ハウステンボスへと向った。加藤竺子先生と稗田慶子先生が、ゆきとどいた気配りでお世話くださっ

て、大変嬉しく、心地良いバスの旅であった。11時、ハウステンボスに到着、風車とオランダ風の家並、色とりどりの花が咲き乱れ、運河の土手の草むらで、白鳥の親子が、私たちを出迎えてくれた。入園手続をすませて、カードとミールクーポンを受けとり、



国際女医学会西太平洋地域会議

国際女医学会西太平洋地域会議に参加して

●議長として

国際女医学会副会長

橋本 葉子

1995年5月オランダのハーグで開催された第23回国際女医学会で、1995年〜1998年までの西太平洋地域の副会長に橋本が選出されました...

国際女医学会西太平洋地域会議に参加して

●National Coordinatorの立場から

常任理事 平敷 淳子

西太平洋地域会議は、国際女医学会の地域会議として三年に一回、その地域に所属する六か国(ニュージーランド、オーストラリア、韓国、台湾、フィリピン、日本)の持ち回りで開催されている...

有田焼物の里めぐり

福岡支部 小野 順子

クラシックバスにて、ワールドレストラン街に着き、昼食をとる。オランダの町を運河沿いに歩き、あの有名な、はね橋をバックに、写真を撮ったりして、ボルセレンミュージアムに入る...

平成8年5月26日朝、窓外には博多湾が初夏の日に輝いていました。恒例のオープショナルツアーAコース、ハウステンボスと吉野ヶ里遺跡めぐり一泊二日組はすでに出発され、Bコース有田焼物の里めぐり総勢五十名は、盛會裡に終了した前日の総会と懇親会の余韻を味わいながら、いっそうの連帯感をもって二台のバスに分乗し、9時過ぎに会場のシーホークホテル&リゾートをあとに、都市高速にのりました...

さがあり、その一部を見ただけでありますが、自然の歴史の息づく新しい町であり、大浦湾の海から生まれた町である。チューリップの咲くころ、もう一度訪れて今回時間がなくて行かれなかったドムトールンの展望台と、パレスハウステンボスへ、そして花とメルヘンのオランダ村にも足をのびしてみたい。

のようないくつかの機会にご一緒させていただき、心待ちにしておりました。テーマが特殊なためか日曜日でありますのに人が少なく、他事ながら経営状況が気になる所でありましたが、私もとっては喧噪より静けさ、清らかな空気と心地よい陽射しがうれしく、心身ともにリフレッシュしました。

有田焼の陶祖、李參平が築いた登窯(復元)を見学し、素焼きの生地に日頃の絵心を託して絵付けを楽しみました。これらが焼き上がり、お手に届く日も近いと思われまふ。パーク内にはマイセン焼を完成させたアウグスト二世により建造されたドイツバロック形式の華と謳われるツインガー宮殿と、壮大な(将来樹木が育てばそうなるであろう)庭園が再現されており、宮殿内にははるばるヨーロッパよりお里帰りした江戸から明治時代の華やかな大壺、国際見本市に出品された大壺などいかに東洋情緒あふれる磁器の数々が展示されていました。

は流れるように進められた。

受けられるような政策を議案に提出して欲しいと。

以上二動議がニュージーランドから提出され決議されました。

ワイトモ・ロトルア一日観光

千葉支部 二橋 麗子

- 1 報告事項
 - (1) オーストラリアが2001年に国際女医会議の開催地となりました。
 - (2) 地域会議の持ちまわり順が変更になりました。1999年は韓国のソウル市で会議は開催されず。
- 2 討議事項
 - (1) 中国女医会 (Chinese Women's Medical Association) という名称についての討論が続けられましたが、中国の女医会はいまだ国際女医会に入会しておらず、四十二年間にわたり、中国女医会の名の下に国際女医会の活動を続けている台湾との間に問題が生じました。本題は国際女医会理事会で台湾・中国両代表参加の上、話合っていたことにしました。
 - 3 決議事項
 - (1) 青少年の保健衛生を国の優先事項として取り上げて欲しい。
 - (2) 両親の離婚や死亡から来る青少年の諸問題に対し、一時的にでも安価にコンサルテーションの

白く長い雲のたなびく国—ニュージーランド、北島のオークランド市での会議第三日目、希望者一行十二人がバスでこの地方の観光に出かけました。ロトルアは別府市と姉妹都市で、北島のほぼ中央にあり、途中ひろびろとした沃野はどこどころにポプラが並び、主としてホルスタイン牛がのびのびと草をはみ、そろそろ初秋のさわやかさがただよっていました。

事をやるご主人をキウイの亭主というそうす。傍らのレイボーファームでは牧羊犬の活躍、象のような肉牛、羊の毛刈りを観せ、大きな羊を左手と右足で押え一分もたたぬうちにつるつるにされました。

真田紐のような幼虫で緑色の粘液の糸をたらしていました。これで餌虫をとらえ蛹になり蚊のような成虫になるのだそうです。餌を誘ったための光は空の星より密度が濃く、観光客は洞窟の流れに浮べた舟に座って上を眺め船頭さんが綱をつたって舟を動かす。暗黒の流れの上で輝く数万の小さな光、一刻俗世を離れ、ヘイマン島で仰いだ南十字星と共に忘れ難い光景でした。

め方、他国の女医さんとの交流もさることながら、日本女医会の先生方のさまざまな面にふれ、元気が出、感動すらおぼえて帰ってきました。とにかく前向きである。明るく若々しい、いい意味でまじめで勉強家が多い、女としてもおしゃれで可愛気もある、仲間に対する心配りが自然に出る。このすばらしい団体に、共学で育ち研修した私も魅せられて入り、今後もおつきあいよろしくお願ひいたします。

千代田支部 井上 柳子

グレート・バリア・リーフとミルフォードサウンドの旅

- 8、九世紀に東南の島々からポリネシア人たちが移住し、温かい地熱地帯を好みマオリ族となりました。火口湖であるロトルア湖、その傍らに清冽な水が湧き出したレインボーリングス、五十センチほどの美しい虹鱒が群れ、クリスタルのように澄んだ流れには水鳥が遊び人間も長生きしそうな空気がした。
- 国鳥キウイは非常にシャイな鳥で、薄暗い飼育室に住んでおり(既に野生の鳥はほとんどいないようすでした)一、二年に一回身体の四分の一ほどもある卵を一コ生み、雄がまめまめしく子育てをするので、よく家

マオリ村では歓迎の印として女の人が鼻をつき合わせ目をのぞきこんで、「キオラ!!」口紅ならぬ口墨をぬって腰みをつけていました。各所にある舌を出したお面は敵に対する威嚇ということでした。マオリ文化をのこすため美術工芸学校があり、若い人が学んでいました。たつぷりのキウイジュース、牛や羊のパーベキユー、アイスクリームを堪能してワイトモ洞窟へ—。

世界の不思議八番目とバーナード・シヨウを感嘆させた約百年前発見されたこの鍾乳洞は変化に富んだ石筍と鍾乳が連り、天井の高低もさまざま、その下方に土ボタルが住んでいます。音や光はおどかしになるので大声やカメラのフラッシュは禁止。ごく小さい灯で天井をみると

3月17日、オーストラリアのケアンズから、サンセット航空にてハミルトン島へ、そして、豪華船でグレート・バリア・リーフ(世界最大のサンゴ礁群)の中で、一番開発された、高級リゾート、ヘイマン島に着く。緑の熱帯樹林におおわれ、エメラルドブルーの静かな海、白砂のビーチ、幾何学的な面で構成されたプールなど、期待どおりの南の楽園である。

けされて、馴れている、名前もついていて、ハリー君という。恵美子嬢(渡辺政子先生のお孫さん)が、水着姿に早変わり、海にとびこみ、シュノーケリングを楽しむ。ハリー君まで共演してくれて、ヤンヤと拍手喝采を浴びる。椰子の木やインゲンのお化けみたいな、大きな実がぶら下っている合歡の木の下で涼んだり、白砂のビーチを散歩したり、プールで泳いだり、おしゃれなブティックでショッピングを楽しんだり、夜は世界のグルメリストランドで、時の流れに身をまかせ、ゆったりとした気分を過ごす。



ミルフォード・サウンドにて

3月19日、プリズベン市内観光、コアラパークでは、コアラを抱いて写真をとるコーナーがあり、両手を座ぶとんのようにくむと、係の人がそーっとコアラを乗せてくれる。抱く人はニコニコ顔、コアラはだんまりと、思いにふけっているような表情で、カメラにおさまる。コアラは抱くときの不注意で肋骨が折れたり、ストレスで病気になるので、十分働くと、七週間は休ませるといふ。コアラの保護は大変である。しかし、コアラはおとなしくてかわいしい、世界中の人から愛されて幸せな動物である。

3月20日、ニュージーランドのオークランドへ。ハイアット・ホテルで夜は歓迎レセプションとカクテルパーティーに出席する。翌日、クライストチャーチへ。モ

ナベールの庭園には、エイヴォン川がゆるやかに流れ、色とりどりの花に囲まれた英国風の邸宅、岸辺には大きな枝垂柳が揚々として青く、川面に濃緑の影をおとし、そばにひっそりとつなれたゴンドラが浮かび、光と影の自然の演出が、ドラマチックであった。

ゴシック様式の大聖堂に入る。天井が高く、大きな美しいステンドグラスが輝き、荘厳そのものである。午後は、クイーンズ・タウンへ。絶景の中を行くスカイライン、ゴンドラに乗り、ホブス・ヒルの展望台に立つ。市街や、ワカティップ湖、遙か望む山々の眺望が素晴らしい。

3月22日、ミルフォード・サウンドへ。朝早くバスで出発する。ブナの森や、羊、鹿の放牧場が、右に左に展開、シダの群生が続く、秋深くなるとこのシダが真紅に色づき、赤い地球と呼ばれ、美しいそうだ。突然、視界が開けて、そびえる山々が一望できる。切り立った断崖絶壁、ガン湖、ミラー湖など、名所でバスはとまってくる。ことにミラー湖の遊歩道は、湖面が鏡のように連なる山々を映し出し、珍しい草木が繁茂し、バスの疲れも忘れて歩く。やがて、道も狭くなり、曲りくねってくる。

岩をくりぬいただけの、真暗なトンネルに入り、バスのライトだけをたよりに走るのだ。皆、北海道の豊浜トンネルの惨事を思い出し、スリル満点であった。やがて、フィヨル

小児病院を見学して

世田谷支部 斉藤 文子

ニュージーランド、オークランドは天候に恵まれ、日本で予想したより暖かく、さわやかな緑の木々、青い海、美しい花々、果物も豊富で快適な旅をつづけることができ、大満足でした。

オーストラリア、ケアンズ経由でシドニーにてゴルフ、市内観光のあと有名なオペラハウスでモダンバレエを鑑賞しました。真青なファームを散策。目前のオペラハウスは大きく、貝殻をはめ込んだ壁、半円形を

の子供のモデルルームのようでした。中に入り三階から見下ろす中庭天井はガラス張り、晴雨に関係なく、中空からは縫いぐるみのクマが下がり、自然の風にゆらゆらしている。それを囲む各階の壁の色は五色に色分けされ、緑の芝生はさながら絵本の挿絵のようです。壁の五色は、水色は太平洋のイメージを、オレンジは台地を、ブルーは天空の青を、ピンクは健康を、黄色は日光の輝きをイメージしています。

各階の病室は広いスペースをとり、廊下や壁、カーテンも子供が安心して居られるよう、可愛い色柄が上手にレイアウトされている。子供は自由気ままに絵具をキャンパスにぶつけて絵を書いたり、玩具で黙々と遊んでいたり、そこに付添の方は自然に静かに居る。また子供の手術を退屈そうに待っている父親も居る。そんな光景も見られました。

そして何とびっくりしたこと、我々に説明してくださった先生の一人は産休明け間近の小児外科の女医さんが応援にかけつけて来られ、彼女は縦横ジャンボで二カ月前のペビーを胸にくくりつけ元気いっぱいでした。各コーナーへ行くたびに看護婦さんたちから大歓迎、そしてまたペビーを披露したりして、まったく緊張のない自然体で、日本では全く考えられない光景でした。

東京療育病院 みどり愛育園落成式に招かれて

副会長 白浜光子

武蔵野の新緑薫る5月18日、東京療育病院みどり愛育園の竣工落成式及び祝賀会に、日本女医学会佐藤会長代理として出席させて頂きました。この意義ある事業を進めて来られた福祉法人鶴風の現理事長倉島攝子先生は、同じ中野区支部会員であり、先年この事業に対する貢献により吉岡弥生賞を受賞しておられます。先生がずっと以前よりこの東京療育病院の維持発展一筋に頑張っておられたご苦労を存じ上げていただけに、この三年がかりの全面改築完成のお祝いは私事のように嬉しく、早速馳せ参じました。

この施設の発足当初の頃は、病院の廻りも雨が降ると一面泥沼化していたそうですが、今は立派な道路が縦横に走り、緑の中の広大な敷地に脳性麻痺児や肢体不自由児を養育し、診療する施設としてまさに理想的な立派な建物が出来上がって、まことに目を見張る思いが致しました。昨年福祉に対する一般の関心も高まり、行政からの支援も以前に比してかなりよくなりました。この、これだけのものを創る大枚の資金を調達なさるのは並大抵ではなかったと思われ、また地域の各

方面との折衝や提携業務など関係皆様のご苦労はさぞかし大変でしたことと推察致します。厚生省、東京都、地域自治体、また建設に関わった各企業体それぞれから暖かい祝辞が寄せられ、理事長、常任理事、院長より完成に至るまでの経緯並びに謝辞が述べられて、盛大な式典が滞りなく終わり、参会者が各班に別れて各病棟、施設をつぶさに見学致しました。

「コスモス、すみれ」など病棟ごとにやさしい名前がつけられ、それぞれの障害の程度に応じ、また性別、年齢、治療の種類、言語の習得や行動の訓練等、リハビリの程度にも応じて細かく配慮、区分された設備の行き届いた多様性は長年療育に親身に携わって来られた方たちの創意工夫の成果の結晶と思われ、敬服するばかりでした。車椅子で一人で往来する患児も、またすべてに看護婦さん、保母さんの援けを必要とする病児も、必要に応じて受療、リハビリ、言語訓練、また院内の学校もしくは近くの養護学校にも学習を受けに行っています。脳性麻痺児が、僅かに動く足の指や口を使って、テレビのボタンを押し

たり、絵を描いたり、ゲームをしたり楽しく生活する姿、そしてそれを支える多勢の職員、ボランティア、親御さんたち、心身障害児に対する福祉の理想の世界が現実を実現されつつあるというので、国内はもちろん遠く外国からも見学者が絶えないと伺いました。もちろん、補助呼吸器、酸素吸入器等を常時使用せねばならぬ重度障害児病棟もあり、医師、看護の方々の昼夜を分かたぬ医

神奈川支部だより

設立三十周年記念総会開催

神奈川支部 森田和子

春うららかな4月21日神奈川支部設立三十周年記念総会を開催致しました。日本女医学会の支部としてその発足に至るまでの大先輩の先生方のご苦労、ご苦心など、今やその経緯を知る会員も少なくなってきた今、改めて三十年間の重みを感じる次第でございます。日本女医学会長佐藤千代子先生にはご多忙中にもかかわらず出張先の仙台よりご出席頂き、会員一同心強く感謝致しております。当日は天候にも恵まれ心配していた参加者も予想を越え多数の会員の出席を嬉しく思っております。記念学術講演には、東海大学医学部第一内科助教授・玉地寛光先生をお迎えして、「女性ホルモンと動脈硬化」というテーマで一時間お話し頂き、大

変興味深い内容を解り易くご説明くださり身近な問題として一同感謝と共に納得し得たと思えます。その後引き続き行われました懇親会には、県医師会長川口良平先生、横浜市医師会長内藤哲夫先生お揃いでご出席賜りました。両先生には、今までもありお話しする機会も無く打ち過ぎて参りました私どもでございしましたが、このたびは親しく、ゆっくり、懇談の折を得、当女医学会をご理解いただき、また関心を寄せられました。そして激励のお言葉を賜わり一同恐縮の極みでございます。県下の住民の方々に女医学会の存在をアピールできるような事をと、ご指示受け、一層奮発致した次第でございます。今後若い先生方にも多く加入

評議員会議事録

日時：平成8年5月25日(出) 場所：シーホークホテル&リゾート (福岡市中央区地行浜2-1-13) 午前10時03分開会 司会 橋川ふさ子 評議員数 一〇七名 出席数 五五名 記名委任数 二八名 白紙委任数 二〇名 以上のとおり日本女医学会定款第27条の定足数に達し、評議員会が成立する旨の報告あり開会を宣す。 会長挨拶 佐藤千代子 報告 1 会務および事業報告 鹿田儀子 配布済みの資料にもつき報告

2 平成7年度特別会計報告

川田喜代子

吉岡弥生賞基金会計
国際女医学会記念事業基金会計
年金会計
ルーペンゲン会計

以上について配布済みの資料にもつき報告
ルーペンゲン会計については類似品が多く売上減少のため今回にて終了したいとの報告があり、了承される。

議長選出

佐藤秩子 (議長着席)

議事録署名人名選出

井上柳子

第1号議案

(1)平成7年度一般会計収支計算書

栗原 久子
配布済みの資料にもつき説明
原案どおり可決
明 栗原 久子
(2)剰余金処分案
次期会計へ繰り越すことを
原案どおり可決

会計監査報告

南雲 君代
監査の結果適法かつ正確であることを認める旨の報告あり。

第2号議案

平成8年度事業計画案

庶務部 中濱 昌子
会員増加推進 中濱 昌子
吉岡弥生賞 中濱 昌子
事業部 中濱 昌子
公衆衛生活動 中濱 昌子

支部助成

荻野吟子賞

社会保険新報社への原稿協力
について 月刊「いきいき」
渉外部 中濱 昌子
国内および国際交流 中濱 昌子
広報部 中濱 昌子
機関紙の発行 中濱 昌子
学術部 橋本 葉子
学術講演会 以上原案どおり可決

第3号議案

平成8年度一般会計収支予算案

青井 禮子
原案どおり可決

第4号議案

2004年国際女医学会設立候補の件

佐藤千代子
原案どおり可決

第5号議案

次期および次々期総会開催地に關する件

佐藤千代子
次期開催地 東京 佐藤千代子
次々期開催地 栃木県(予定)
原案どおり可決

閉会の辞

野澤 良美
浜崎浜子評議員より「女医の産前産後および育児休暇の充実を図るための要望書を女医学会として作成して欲しい」との要請が高知県会員からあったとの報告があり、全員賛成の上、今後の理事会における検討課題とする。

理事会議事録

午前10時51分開会

日時：平成8年1月27日(出) 午後3時30分

場所：京王プラザホテル

出席者：佐藤、白浜、中濱、野澤、青井、石原、稲生、栗原、佐々木、野本、橋川、橋本、丸茂、大澤、大坪、加藤、佐伯、鹿田、清水、田中、西嶋、久田、松本、宮原、村田、吉崎、南雲、野呂、藤岡、山崎名誉会長 (以上30名)
欠席者：佐野、平敷、松井、川田、山本 (以上5名)

11月理事会議事録を承認する。

会長挨拶

議事録検討事項
一、庶務報告 村田理事
別紙どおり報告、承認される。
二、会計報告 西嶋理事
平成7年12月分収支、別紙どおり報告、承認される。
栗原常任理事より現在までの会費納入状況の報告。

三、各部報告

【渉外部】 野本常任理事
・国際婦人年連絡会全体出席の報告。
【事業部】 丸茂常任理事
・公開講演会について
6月2日(日)「命」をテーマに名古屋にて開催。

10月22日(火)「エイズ」をテーマに武蔵野市にて開催を計画。

・医療奉仕への助成の候補として群馬県「母乳育児を促進する会」を推薦。
・「いきいき」への執筆者は9月まで決定しているが、その後は募集中。
・2月17日、群馬県女医学会フォーラムが春山茂雄氏を講師として、健康のコツ・愉しみのコツをテーマに開催されるが、本部からも参加を希望。

【広報部】

稲生常任理事
・第一四五号会誌の校正会議は1月17日に開催、今月末に発送予定。
【学術部】 橋本常任理事
・再依頼した支部から開催の回答を得られなかったのでワークショップまたは学術研修会開催は少し遅くなる見込み。

議題

一、平成8年度事業計画案および予算案について
各部計画案および予算案を2月20日までに提出。
二、吉岡弥生賞審査委員会、荻野吟子賞選考委員会、学術研究助成候補者について
審査、選考委員会は2月24日(土)に開催。
・学術研究助成は十二名の応募があったが、助成は五名までとする。
三、第41回定時総会について
会員増強など福岡県支部の拡充をめざし着々と準備中。
多数の参加を希望。

四、国際女医学会西太平洋地域会議について
抄録は日本語に訳し参加者全員に送付する。
・Dr. HesseよりMWIA、倫理委員への推薦依頼があり候補者を募集中。
・Executive Meetingでは会長とナショナルコーディネーターからの報告が必要。
・4月に行われるMWIA本部、Executive Meetingの議題を募集。
【National Coordinatorから】
・MWIAより会員のDatabase作成協力の要請があり、賛同する事に決定。
・Dr. Wardより国際女医学会の歴史を執筆中につき、日本に関する情報提供の要請があったので、協力する事に決定。
・MWIAよりYoung Forumへの入会者の募集依頼があり。
五、3月理事会について
・国際女医学会西太平洋地域会議と開催日が近いので、今回の理事会を3月30日(土)にする。
六、その他
・会計部より阪神淡路大震災義援金の収支決算の報告。残額をどうするか、今回の理事会までに考える。
・別途会計(Dr. Iのメッセージ)、日本女医史追補、ミニ傘の会計報告。

・山崎名誉会長より、「日本女医学会の活動を外部へ大いにアピールしなければならぬ」との発言があ

った。

副会長(庶務部担当) 白浜 石原、橋川、鹿田、久田、村田

理事会議事録

日時：平成8年3月30日(土) 午後3時30分

場所：京王プラザホテル 出席者：佐藤、白浜、中濱、野澤、青井、石原、稲生、栗原、佐々木、野本、橋本、平敷、松井、丸茂、大澤、大坪、加藤、川田、鹿田、清水、田中、久田、松本、宮原、村田、吉崎、南雲、野呂、藤岡、山崎名誉会長 (以上30名) 欠席者：佐野、橋川、佐伯、西嶋、山本 (以上5名)

理事会に先立ち、佐藤会長よりニュージーランドにおける国際女医学会西太平洋地域会議が成功裡に終了との報告があった。

議事検討事項

一、庶務報告 久田理事 別紙どおり報告、承認される。

二、会計報告 川田理事 平成8年2月分収支、別紙どおり報告、承認される。

三、各部報告 松井常任理事 国際婦人年連絡会全体会出席の報告

【渉外部】

松井常任理事 国際婦人年連絡会全体会出席の報告

【事業部】

丸茂常任理事

6月30日、名古屋にて公開シンポジウム「しなやかに生きる」を開催。

10月に武蔵野市にてエイズに関する公開講演会を開催。

医療奉仕に対する助成、来年度より広く公募する。

「いきいき」への執筆依頼。

【広報部】

大坪理事

3月14日に第一四六号会誌割付会議を開催、4月10日に校正会議開催予定。

四、国際女医学会西太平洋地域会議について

橋本常任理事より、二百五十四名の参加(日本からは五十三名)で成功裡に終了との報告。

ナショナル・コーディネーターより会議の詳細についての報告。

佐藤会長より、2004年国際女医学会開催国に立候補してはとの意見があり継続審議とする。

五、定時評議員会、定時総会について

定時評議員会、定時総会における議事それぞれの発表者を決める。

議題を検討、決定。

評議員会、総会の議事進行を迅速にするように検討する。

評議員会の時間を短縮し、同時開催されている公開シンポジウムに出席できる方法を検討する。

申込み者が予測より少ないので、総会、評議員会の葉書に再度お誘いを記載する事に決定。

六、平成8年度事業計画案および予算案について

学術部より講演研修費とワークショップ費をまとめて学術研修費としたいとの希望があり承認。

事業部より「医療奉仕への助成」と「公衆衛生」の予算をまとめて「公衆衛生活動」と統合する事について検討し、承認される。

「医療奉仕への助成」については案内の文書を作成し広く募集する。

予算案についての説明があり来年度の雑収入が三〇〇万程減収するので、管理費と各部の活動費を削減し改めて予算を立てる。

外部団体の活動助成金に応募を考慮する事に決定。

七、阪神淡路大震災の義援金残金について

残金一三二万八四八六円は別途会計として災害時に使用し、利息は難民救済等のボランティアへの寄付を主旨とする貯蓄をすることに決定。

八、平成8年度役員会開催日について

別紙どおり決定。

九、その他

丸茂常任理事より「脳内革命」の著者春山茂雄氏の講演会を前向きに検討したいとの発言があった。

副会長(庶務部担当) 白浜 石原、橋川、鹿田、久田、村田

会員動静

新卒入会(敬称略)

東女学内支部 麻生智子

入会会員(敬称略) 群馬支部 安部由美子

茨城支部 平井みさ子

千葉支部 村山和子

大田支部 岡田恵美、吉田浩子

品川支部 大堀ふさ子

東女学内支部 河村真規子

静岡支部 野島陽子

大阪第7支部 下間亜由子

広島支部 高橋春美

退会者(敬称略)

福岡支部 神宮純江、樗木晶子

佐賀支部 伊藤洋子

宮城支部 木下いう

福島支部 大平ツヤノ

千葉支部 木村キン

神奈川支部 村田マサエ

新宿支部 国貞勝子

静岡支部 山内千枝

山梨支部 斎藤小春

大阪第1支部 町静子

兵庫支部 猪原志め子

徳島支部 佐藤七三子

集記 編後

吉岡弥生賞を受賞された澤口彰子教授は東京女子医科大学法医学教室を主宰され法医学の第一人者としてDNA鑑定などでも活躍中です。

地域功労賞の永田夏子先生、村松みさ先生ともに生涯現役を貫き地域の人々に大きな貢献をなさいました。

皆様おめでとうございます。

公開シンポジウム「未来を開く女性の役割」は第一線で活躍中の若い先生方の建設的な意見を聞くことができ、心躍る楽しい会でした。

総会講演会「小児外科、最近の進歩」は九州大学小児外科教授の水田祥代先生の感銘深い講演でした。講演の内容は次号に掲載の予定です。

女医会に出席すると高齢でも元氣溢れる先輩や立派な働きをしている若い先生方に会うことができ自然に元氣が湧いてきます。この元氣をもとに日々の診療に励んでいます。『安らげき終焉迎える人のため往診に行く朝あけの道』 (大坪)

平成8年7月20日 印刷 平成8年7月25日 発行

編集人 稲生 襄 発行人 日本女医学会

発行所 東京都渋谷区渋谷2-8-7 青山宮野ビル 社団法人 日本女医学会

〒三三九八一〇五七一 〇三三九八一〇五七一 東京都文京区水道1-5-16

制作 株式会社 金剛出版